

何を身に付ければよいのか

今年は教育関係で多くの変化があります。新指導要領に従った教科書、週5日制、中学通知表の絶対評価。これほどの変化は今後に大きな影響を及ぼすものと思われます。

その昔、「読み、書き、そろばん」と言われていたものは、科学技術の進歩にともなって、コンピュータ操作や英会話が必須となっていくのかもしれませんが。塾や学校はこうした変化に敏感でなければならないのは当然であると思います。ただし、ワープロや表計算・翻訳ソフトがいくら充実したからといって、漢字や英単語を覚えなくても、筆算ができなくてもかまわないという意見には反対です。人間が基礎学力を身につけたまま生まれてこれない以上、これらを省略することはできないと思います。塾や小中学校の学習内容として、重要な課題として今後も残っていくものでしょう。

また、雇用形態の変化や、長引く景気の停滞による失業率の上昇は、若年層の就職状況に暗い影を落としています。大学も進学希望者全入の時代になると、いよいよもって学歴の価値が色あせてくるでしょう。どこを卒業したかではなく、何を身につけたのが求められる時代になっていくのでしょう。

本物が求められる時代。それは平均的な優等生よりも、一隅に秀でた高い専門性が評価される場合もあるでしょう。そのためには、学年でトップであるとか、「5」が取れているからというレベルではない、得意分野(科目)のよりいっそうの自己研鑽が求められます。指導要領が簡単になり、絶対評価ともあいまって、今まで以上に「5」が取れやすくなるかもしれません。自信にすることはよいことですが、さらなる高みを目指す意欲がそがれないようにしなければなりません。こうした点での適切な指導は、一斉教育では少し難しいでしょう。

これからの基礎教育とは何を身に付けていくべきなのか、そして学習塾には何が求められるのか、今後も考え続けたいと思います。

'01年度2学期通知表結果

9科目別平均	英語	数学	国語	社会	理科	5科目計	音楽	美術	保体	技家	9科目計
1	4.4	4.4	3.6	3.8	3.7	19.9	3.7	3.6	3.9	3.6	34.6
2	4.5	4.4	4.2	4.4	4.3	21.8	3.7	4.1	4.1	4.0	37.7
3	4.5	4.9	4.2	4.5	4.5	22.7	3.5	3.7	3.6	4.0	37.5

5科目別内申評定割合 (%)

	英語	数学	国語	社会	理科
5	57	65	35	46	41
4	32	27	32	35	38
3	11	8	27	14	19
2	0	0	5	5	3
1	0	0	0	0	0

9科目合計内申割合 (%)

	'01 2学期	'01 1学期	主な受験資格高校
40~45	30	32	旭丘 菊里
36~39	35	26	春日井
32~35	22	21	高蔵寺
27~31	8	13	春日井東
9~26	5	8	私立 他